

「市民と議会の対話集会」にご出席を頂き、ありがとうございました。本書は「対話」の記録です。皆様からのご要望により、議員の「私見」も織り交ぜた回答もありますが、発言の趣旨を変えることなく掲載しています。

なお、回答の中で「検討いたします」等とお答えした事項につきましては、全議員に周知し、今後の議会活動において調査してまいります。

阿木会場

【質問・意見・要望】

小中学校一貫教育について

質問 視察に行った先の小中一貫教育はいつからか。

回答 昭和52年度に子供が少なくなり、小中学校ということでまとまった形でスタートと聞いている。平成26年に小中一貫教育、平成29年から義務教育学校となり1年生から9年生という形で本格的に導入しました。

質問 全体でその当時と比べて生徒数は増えたのか。増えていないとすると少子化対策になっているのか。

回答 詳しい人数までは確認していないが、子どもの人数は間違いなく減っている。全校生徒数79人中、山村留学で外から来ている生徒10人。小規模特任校制度で他の地域から20人程度来ています。地元の生徒は40人ぐらい。この先はどうなるかといったところまでは確認していないが、地域と一緒にあって他の地域の子供も受け入れながら地元の学校を守っています。

中津川市の防災・減災対策について

質問 ソフト面は詳しく取り上げられ資料にもあった、防災・減災についてのハード面について中津川市はどう考えているか。

回答 前山が崩れやすいと聞いている。対策を市が全て行うのは困難であり、主体的には国や県が対策を行っていることが多い。国、県と連携し予算措置を行い砂防対策が行われています。前山の下流、坂本などで現在も砂防工事が行われています。今後5年間ぐらいかけて対策するよう計画をしています。

回答 中部電力によると、中津川は風速45mで停電するマニュアルがあり、すぐ復旧できる減災対策を考えています。

要望 国防・防災は国だと思うが、国、県と中津川市とうまく連携してやってもらいたい。

リニアについて

質問 隣接している恵那市議会と中津川市議会との関係はどのようになっているか。

回答 中津川市は先行しているが、恵那市は少し遅れているようです。現在、その調整を行っています。

質問 阿木に対して中津川の関心がない様に感じる。これから中津川より恵那の方が発展していくように感じる。恵那市は明智などまだまだ家を建てられる場所があるが中津川には少ないのではないかと。中津川市の北方面ばかりに目を向けなくて、もう少し南方面にも目を向けてほ

しい。行政は恵北地域にばかり目を向けている様に感じるがどうか。

回答 恵那市との連携を大切にしながら、阿木地域にもしっかり目を向けています。

質問 リニアは2027年開通予定だが、本当に大丈夫か。

回答 JRの回答では予定通り。用地買収も順調に進んでいると聞いています。静岡などで問題もあるようだが、順調に進められているようです。

質問 2月の新聞に載っていたが、首都移転や最高裁判所を誘致する話が頓挫したが、国の機関を誘致するということで活性化したらどうか。

回答 リニア中央新幹線開業に合わせて国の機関を中津川に誘致するという話は、将来的には出てくるかもしれないが現在では聞いていません。

活性化のための企業誘致活動としては、坂本の高等技能専門校跡地に研究機関のある会社を誘致することになっています。また駒場の資源センター跡地は鈴木商館という会社を誘致することにしました。

質問 恵那市の市政15周年で観光マップが配布された。明智鉄道沿線が中心で、恵那市はきれいにマーキングされていたが、阿木地区はグレーだった。寂しい気持ちになった。阿木地区も同様に記載してもらえよう恵那市にお願いできないか。リニアに関しての取組みは恵那市が遅れているとの説明があったが、恵那市長は遅れているのではなく焦らないと言っていた。中津川市でのリニア開通で、人は自然に恵那に流れると思われる。

回答 恵那市へ人が自然に流れてくると考えていると言われたようですが、中津川市もしっかり取り組むよう要望があったと市へ報告します。

中津川の天気予報について

質問 中津川市が広域合併をしたデメリットのひとつとして、天気予報と地域の実際の気候が一致していない。地域ごとに細かく分かるようにしてもらいたい。

回答 細分化してほしいという要望書を県も巻き込みながら気象庁や岐阜気象台などに提出しているが、まだ回答が得られていません。

警報発令で学校が休みになるということが問題になっています。教育委員会によると休校の判断は学校長でもできます。岐阜市の方では暴風警報が出た時だけ休みにしているようで、大雨警報では休みにはしていないそうです。地方によってその判断が違うと聞いています。

中津会場

【質問・意見・要望】

空き家・ゴミ・環境対策

質問 中津川市内の空き家は何件か。

回答 1,045軒です。

質問 子野地区中山道沿いに家電品などごみが放置されている。観光客が多く通る場所なので、片付けたいが地域では対策ができないため、行政でやってもらいたい。空き家・不法投棄もある。

回答 中山道ということで観光客も多いので、対応が必要だと思う。確認したい。先程説明した特定空き家の条例は今年度から運用されます。

要望 セイタカアワダチソウの繁殖力がすごい。20年くらい前に、ある議員さんをお願いしてい

た案件。JR 線路際に多く生息している。国家・県をあげても早く手を打ってもらいたい。

まちづくり

要望 まちづくりを進めている。まちづくり推進条例が可決された。西地区としてもまちづくりを半年間勉強している。議会でも地域の動向や組織について注視してほしい。リニアを中心としたまちづくりということでハード中心になってしまうかもしれないが、地域の魅力を伝えること、環境整備をすることも地域力につながると思う。住んでいる人や人と人のつながりや次の担い手にスポットを当ててもらいたい。

リニア関連

質問 リニアの関係でまちづくりの中津川恵那広域連絡協議会があると思う。ホームページで確認すると、観光にかかわる内容で年に一回ぐらい話し合いがあるようだ。さらに恵那と連携をとることをご検討願いたい。

回答 観光は広域的な事業と捉えており、情報を恵那・中津川で共有しようと進めています。中津川市は馬籠、苗木を観光地として進めています。恵那は恵那峡を中心に、岩村・明智などの恵南方面を進めています。また、これ以外では恵那市だけでなく、下呂市・濃飛横断道ということで郡上市まで入ってきます。南木曾町、飯田市までと広域的に観光を捉えており、線から面へと展開が必要だと思います。

質問 議員同士で恵那市などと協議会を作って、まちづくりをしていこうかということはあったか。

回答 恵那市議会とは先月交流会を行いました。過去から交流会を行っており、恵那市と中津川市間は友好的だと思っています。飯田市も一年に一回は交流会を行っています。また、濃飛横断道に関連しては中津川市・下呂・郡上・東白川の議員連盟を作って活動しています。特に恵那市は近いということで頻繁に交流しています。

質問 議員間の交流については議会便りには載っていない。こういうことも PR してもらいたい。

回答 本日配布の資料の中にもリニア特別委員会として三市一村の懇談会について掲載しています。今後議会便りにも詳しく載せていけるように検討していきます。

質問 リニア中央新幹線は東京・大阪・名古屋がメインということで JR が立ち上げた事業である。各市区町村が動く課題ではない。JR 東海は地域に対して高姿勢に思える。リニアは技術的な問題もあり、また、まちづくりのスピード感が必要であるため国が中心となるべきと考える。かつて、省庁の一部を中津川にもってくるという話があった。もっと国会議員を通して要望活動を行う使うべきではないか。

回答 地元国会議員とは定期的に情報交換を行っています。中津川市としても企業誘致活動は継続しており、具体的には坂本職業訓練校跡地に研究開発する企業の誘致を予定しており、今後の中津川市議会からも要望を国の方へ提出していきたい。

呼称について

要望 市から交通安全婦人の任命を要請されるが、最近婦人という言葉あまり使わない。婦人連絡協議会というものがあるが、女性連絡協議会などともできるのではないか。議会としても条例などチェックしてもらいたい。

災害・防災について

質問 子野の地藏堂川の付近は、以前は整備されていたが今は荒れ放題の状況である。堰堤があったのが、なくなってしまっている。大雨がきたら決壊するのではないかと近くに住む高齢者

も心配をしている。

回答 子野川流域には現在５つの堰堤があります。地藏堂川には３つの堰堤があり、一番古いもので昭和５６年、次に６２年、平成元年にできており、点検事項という点は注視していかないといけない。参考として、中津川の砂防施設は中津川流域で中津川だけで６２、四ツ目川は２８、子野川が５つ、落合川が６９あります。

地藏堂川は一部国交省だが大半が県の管轄。県が進めていくことになっており、中津川流域の王子製紙付近では災害対策として県が木を伐採しました。要望が出れば県も対応してくれると考えます。意見があったということで地藏堂川の河川整備を求めています。

質問 １０月２２日の落雷で電線が２本切れた。高压電線であり、中部電力に電話したがなかなか通じなかった。電線が垂れ下がり高压電線で危険だからということで、警察に電話をし、駆け付けてもらった。このような際には中部電力の対応を求めたい。

回答 中部電力にはできるだけ早く対応してもらえよう働きかけていきたい。
中部電力では指令センターで停電の場所を把握できるシステムがあると聞いています。ただし、状況によっては復旧などが中部電力だけでの対応が難しい場合もあります。電線が切れている場合などは安全が優先であり、先に警察などへ連絡することもお願したい。
停電については中電の停電のネットというものがあり、情報がスマホに送られるアプリがあります。

要望 子野地域は三五沢、地藏堂川、子野川に面している。砂防ダムはありがたいが、一度崩れたら大変だ。安部首相が行っている国土強靱化とは何かと考える。戦後国は檜や杉の植林を進めてきた。しかし、これらの木は根を張らないため、ブナなど広葉樹をもっとたくさん植えてもらいたい。林野庁はじめ国の政策として進めてもらいたい。市議会から国へ訴えてもらいたい。（広葉樹が多い）白神山地で土砂崩れがあったなどということは聞いたことがない。

回答 要望は中津川市へ伝えます。

健康福祉会館について

要望 この会場をよく使うが、照明が暗く、資料も読みにくい。もっと明るくしてもらいたい。

災害時などのワンストップ窓口について

質問 市民が一人でも困っていることがあったら、そこへ問い合わせれば何でも対応してくれるような窓口を市内のどこかに設けてもらいたい。また、周知してもらいたい。そうすれば自分達の生活を自分達で守るということもできる。こうした部分も調査して配慮してもらいたい。

回答 他の地域では総合事務所が地域に関することに対応しているようだが、旧中津川市内は総合事務所がありません。旧中津川市内は本庁に問い合わせをしてもらえればいいと思います。
災害時は防災対策本部ができるので中津川市役所に電話してもらえれば何らかの対応をしてもらえるはずです。警察・消防でもよいと考えます。

蛭川会場

【質問・意見・要望】

認知症の方の損害保険団体加入

質問 全国で５００万ぐらいの高齢者のうち、警察発表では１６，９００人が自由外出（徘徊）をしてしまい、列車事故などが発生している。私鉄での事故では損害賠償として高額な補償金が家族へ求められたケースがあった。

愛知県大府市などでは、同居家族が周りに被害を与えた場合の補償が受け取れる賠償保険に市として加入するようになっている。とても良い方法ではないかと思っている。是非議会でも話題にしてもらいたい。昨年9月議会で一般質問を行ったが中津川市でも制度化してもらえないだろうか。

回答 団体保険ということで加入できないかと聞きましたが、個人で加入してほしいという回答でした。団体で加入すれば保険料も安くなると考えるので、そのための組織を作れば対応できるのではないかと考えており、粘り強く訴えていきたい。

まちづくり・指定管理制度

質問 蛭川では現在、まち協の財源を確保するために指定管理を受託したいと考えている。しかし、受託するための振興会という組織はあるものの事務局整備ができていない。市内の他地区ではまち協の関係で指定管理を受託しているところがすでにある。事務局がある福岡・苗木では指定管理を受けることができています。

行政は、人員は削減し、自治は手放している。手放された自治はどこが受け皿でどうやっていくのかが問題となっている。人材削減により地域での自治活動を推進するために、人件費などにあてる財源づくりを恵北地域全域で議員から要望を出していつてもらいたい。坂本周辺へ集中させたいことはよくわかるが、お金がないために自治すらできなくなっている。地域の役の担い手がなくなっている。

回答 その通りだと考えています。

総務企画委員会の視察では、他市の指定管理の方法を研修してきました。東広島では310施設について指定管理を行っており、中津川市をはるかに上回っています。東広島市では評価を行い客観性・透明性を担保しており、中津川市も方向性は同じでした。三原市は統合管理計画、中津川市はマスタープランということで進めています。しかし、マスタープランに入っているからすぐに廃止ということもできません。従って予定通り進んでいない。今年度末までにマスタープランの見直しを計画しており、実効性のあるものにしていく方向です。地域の方と話をしながら進めて参りたい。

質問 北商工会で地域づくり意見交換会があり参加してきた。理事・定住推進部長・リニア推進部長・商工観光部長も参加していた。坂本に市は予算を投じて、他の地域をないがしろにしているのではないかという質問をしたが、そうではないとの答弁であった。リニアがくるということで中津川市に人を呼び込み、千載一遇のチャンスとして進めていかねばならないとのこと。活性化するために皆さんも頑張りたいとのことであったが予算を出してくれるとは言わなかった。草の生えている県道や市道を見て観光客はどう思うか。市道ぐらいは刈ってもらえないかと問うとそれは地域で刈ってくださいと言われた。まちづくり協議会を応援するという条例ができた聞いたが、地域は少子高齢化で人材もいないし予算もない。そうした中で、自分たちでやって下さいと言われても役員にだけ負担がかかってしまう。役員を受ける後継者がなくなってしまう。地域交付金のようなものが作られれば地域を運営していける。何とか市にバックアップして出してもらいたい。リニアを生かして活性化してと言っても予算を出してもらえないようでは、地域は活性化できない。

回答 要望を区長会としてあげてもらいたい。議会としても応援していきます。

地域交付金は新潟県南魚沼市がすでに導入している。まち協ぐらいの単位で交付金を出して側溝の改修など全部その交付金で対応していました。参考になるとよいと思う。

質問 まち協の事務局を集落支援の方が対応してくれている。その集落支援の方が辞めた時に安価な報酬で事務局の支援を引き受けてくれる人がいるかどうか心配である。東白川では集落支援員が5人いる。一人当たり国から170万円もらっている。総務省のホームページを調べてみたら、一人350万円公金がもらえるようである。東白川の方が言うにはフルタイムで働いて集落支援のお金をもらっている。中津川市は11の集落支援がある。中津川市内と坂本を除いた地域ぐらいで集落支援を受けていると思う。国の方へ訴えて金額を上げてもらえないだろうか。

回答 中津川市の集落支援員は11人。補助金の金額はよくわかりませんが、蛭川での金額が一般的な補助金の金額だと思っていました。人件費ぐらいは出してもらいたい。市の事業かどうかは別として、市の職員でも良いので張り付けてもらいたいというぐらいの感じでいます。平成31年度の集落支援員に対する支援事業に対して中津川の予算が1,022万円あり、総務省の交付金の確認をします。活用できれば活用していきたい。全議員で進めていきたい。後ほど回答します。

リニア送電線

質問 154,000Vの送電線が蛭川に通る。本来対策室がどう対応すべきかを議論してもらいたい。リニアのプラスの面ばかりを捉えているがこうしたマイナスの面もある。行政側がきちんと説明することだと思う。

平成27年に中津川市のリニア対策室へ要望して中電が説明会を行った。鉄塔は風速40mに耐えられるという説明だった。つい先日の台風で千葉市の鉄塔が2基、瞬間風速57mの時に倒壊した。2,000本の電柱が故障した。今回のケースは想定外だったかもしれない。しかし、これからは十分起こりうる。リニアの60m鉄塔が説明会では100mに変更となっていた。古い設置基準では今回のような台風には耐えられるわけがない。国も設置基準を見直しており、中電も同じである。リニア対策室に対して、蛭川で起きているリニアに関する問題を取り上げ議論すべき。住民意思を反映されたものかどうかをしっかりと検証してもらいたい。住民の意見を代弁するのではなく、住民の立場に立ってこの問題を取り上げてもらいたい。

回答 リニアに関する鉄塔の件は地元の意見も聞いています。民間の事業運営に議会としては干渉することは出来ないが、困っている住民の方もおり放っておけないと考えています。

リニア関係では、いくつもの問題を抱えているが、行政としっかり話をして研究して参りたい。

今後車両工場、非常口トンネル、変電所ができる地域でも、市民から不安だという声も聞いています。かまわず進めてくれというわけではないですが、議員として行政やJR・中電に住民の声を伝えていきたい。心配な気持ちを少しでも楽にできるようにと考えています。

質問 住民はリニアに反対だという大きなことを言っているわけではない。これから自分たちの生活がどうなるのかを心配している。平成27年から30年にかけて中部電力は市役所に対して9回説明会を行っている。しかし、リニア対策委員会で取上げたり検討事項になっていることがない。中電から行政機関に情報が全部入っていながらそれが住民に知らされていない。住民が自ら集めた情報を基に話し合いを求めても、中電は民間の企業だからと取り合ってくれない。

言われたように地区全体で議論すべきではないかと思う。代替案を提案したが、却下されて

しまった。関電の老朽化した設備を使えないかという話もでてきているがこうした議論がなされているかどうかはわからない。地域の方が反対しているのに、無理やり押し通すというやり方はやめてもらいたい。皆に喜ばれるリニア建設をしてもらいたい。

回答 こうした意見があったということの中津川市に伝えます。

豚コレラ

質問 豚コレラの問題。蛭川恵那に東海ミートがある。今は操業停止中だがワクチンが認可されたと聞いた。その後話が来っていない。その後の状況を教えてほしい。

回答 恵那市に確認して総合事務所を通じて回答します。

苗木会場

【質問・意見・要望】

その他

質問 各種団体の補助金の会計報告で計算が間違っていることを議会はどう思いますか。（湯舟沢スポーツ公園補助金）

回答 内容を確認して中津川市に伝えます。

福岡の小学校統合について

質問 福岡の小学校が一つになることについて、中津川市全体の問題でもあると思うが、跡地について何か考えているか。

回答 福岡まちづくり協議会では、新ふくおか小学校（仮称）建設準備委員会と跡地利用委員会で市役所を交えて協議しています。地域の人口減少に歯止めをかけられるようなものになったらいいと思います。

リニア関連

質問 リニア駅周辺整備課という名前を初めて知った、この課と一度も話をしたことがない、地元との話をしたと書いてあるが、おかしいと思うがどうか。

回答 執行部に伝えます。

保育園関連

質問 地元の保育園に入りたいが入れない。随分前から対策をお願いしているが、なかなか進まない状況を議員の方はどう思うか。

回答 問題については把握しているが、一番の問題は保育士の確保が難しい状況だと認識しています。

放課後児童クラブ関連

質問 学童では、この先障がいのある子も受け入れなければならないと思う。しかし、プライバシーの保護ということで情報をほとんど教えてもらえない、なんとかならないか。

回答 守秘義務があることから難しい問題だと思います。例えば、指導員の先生とお互いに信頼をもっていただくことが大事だと考えます。

ゴミ問題

質問 中津川市のゴミ問題では分別も浸透してきたかに思うが、この先どうしていけばいいのか聞きたい。

回答 今回の視察先では中津川市よりもっと細かく分別していた。行政と一緒にもっと減量できる

よう進めていきたいと思います。

質問 今でも生ごみ処理機に補助金がでていると思うが、もっと周知したらいかがか。

回答 三つの視察先でも生ごみ処理機への助成は行っており、簡単にできる方法も見てきました。現在中津川市において補助金制度が継続されているか把握してないので、確認し提言もしていきたいと思います。

観光（苗木城）

質問 苗木城跡を中津川市はどうしたいのか、現在の在り方をどう思うか。

回答 行政はブームの後追いだと思います。このことについてはしっかりと行政と話し合いたいと思います。また意見を聞かせていただきたい。

下水道

質問 苗木の下水処理場の機械の故障により悪臭がした。5日ほど我慢をしたが、我慢ならず役所に電話をした。その際ではなく、後に近隣の住民に連絡するなど対応は住民を軽視している。しっかり行政に言ってほしい。

回答 しっかりと中津川市へ伝えます。

苗木小学校関連

質問 苗木小学校の先生たちは保護者を怖がって、まともに教育できていない。議員はもっと学校の中に入って見てほしい。

回答 地域の方々と一緒になって考えていきたいと思います。

その他

要望 現在の行政は縦割りであり、そこが一番ネックになっていると思う。今夜出た問題などこのままでは後追いになってしまう。議会も同じだと感じる。市長にもっと政策提案などをして、マニフェストなどを作るようにしてほしい。

坂本会場

【質問・意見・要望】

地域への情報

質問 坂本は今後、重要な地域になる。限られた範囲しか情報が届かない。もっと情報を提供してほしい。

回答 今後、情報提供には区長とも連携していき、要望を頂ければ地域事務所を通じて話をします。

市政懇について

質問 市政懇談会で市長から直接返答すると言われたが、2週間経っても返答が無い。情報公開を求めたが、議会は市長のチェック機能ができていないと思える。他の地域でも市長に対しての要望の返答はされているか。

回答 市長に伝えておきます。

リニア関連

質問 立退きをする必要がある。農家ではないが、3反の土地を購入し農業をしたらどうかと市役所に言われた。しかし、農地転用ができないため土地を購入することができない。市役所が

進める土地は農地ばかりで困っている。IターンやUターンには優先に補助制度があるが、リニアで立退く人には何もない。いかがか。

回答 他にもそのような話は聞いている。行政にしっかりと対応していただくよう中津川市に伝えます。

質問 市政懇談会でも要望した。市、県、J Rと連携して住民に迷惑がかからないようにしてほしい。市の三役に現地を見てほしいとお願いをしたが、何も返答が無い。議会から市長に話をしてほしい。

回答 中津川市に対応してもらえよう伝え、議長からも話をしてもらいます。

質問 先ほどの話は深刻な問題。地元の議員は一般質問など議会で訴えてほしい。

回答 濃飛横断道路の件では地元住民としても対応をしており、中津川市に伝えます。

質問 空き家は有効に活用してほしい。空き家に対するアンケートをやるべきだと思う。

回答 中津川市も努力していきます。

質問 自宅の前の58号線が拡幅改修すると聞いている。ガイドウェイの運搬にも使用するようだが、J Rは問題が発生したら対応すると言っているが、この様な問題を考えてほしい。

回答 リニアは国の事業として進んでおり、皆さまからのご意見は伺っていきます。

質問 リニアが認可されて説明会が何度も行われたが、地元の議員を見たことがない。もっと出てきて市民の思いを聞いてほしい。

回答 市議会議員も出席出来ない時もあり、今後は連携して出席できるよう調整していきます。

質問 濃飛横断の境界立会いの連絡が突然に来了。設計変更の要望書を出したが何も返答が無い。地権者は土地を提供するのだから、要望を聞いてほしい。池を埋め立てて、家を建てればいいと簡単に言われた。

回答 困っていることをまとめる窓口が市にはない状況です。担当課に伝えます。

個人の要望は用地課と話をしますが、地域の要望として出した方がいいと思います。

質問 濃飛横断道路は地域の総意で作らなくてもいい。道路建設を変更することを希望する。議員の皆さんにこれだけは伝えたい。環境が大事。

回答 区の総意ではないと聞いています。事業を進めていく中で、要望書を上げていただきたい。

福岡会場

【質問・意見・要望】

小学校統合関連

質問 田瀬小学校と下野小学校が統合となり、3年後には福岡の小学校がすべて統合となる。リニアに予算が回り、本当にできるのか心配。遅れるようなことにならないか。

回答 地元の議員として進捗するよう取り組んでいきます。他の議員にも後押しをしてもらい進めていきたい。

質問 学校の跡地の活用は決まっているか。

回答 跡地活用は地域と連携しながら進めていきたい。

要望 福岡は4小学校が統合されるので、中津川市のモデル校となるように立派な学校にしてほしい。

質問 小中一貫教育ができれば良いが、どのようにしたらよいか。

回答 小中一貫教育を進めたいので視察で研修をしてきました。資料は教育委員会に渡してあります。現在のところ行政では導入しないと言っています。

放課後児童クラブ

質問 放課後児童クラブ（学童）の支援員が不足している。地域としてどのようにして取り組んでいったらいいか。

回答 支援員不足は福岡の地域だけではなく、中津川市全体の問題です。議会としても全市的に対応すべきと感じています。

東濃東卸売市場について

質問 私は商売をしている。3年ほど前に市場が非常に大切だということを議会で取上げてもらったが、民間企業に対しての支援は難しいということだった。その後はどうなったのか。市場が遠くなると、名古屋市か高山市へ仕入れに行かなければならなくなる。また、地元で市場がないと学校へ納品する地産地消の食材が手に入らない。個人商店を守ってほしい。市場を建てるための土地を中津川市が確保してくれれば、建物は私たちが建設するのでなんとかならないか。私たちも頑張っていくので、議員の皆さんも忘れないでほしい。

回答 民間企業に支援をするのは非常に困難。中津川市が土地を確保するという検討もされたが、現在は動きがない状況です。

質問 玉蔵橋から苗木方面で歩道がないところがあり、危険なので設置をしてほしい。

回答 一部は歩道を整備したが、指摘の場所での歩道設置は困難な状況です。

質問 車の免許証返納されている方が増えているが、足の確保ができず困っている人が多い。移動に補助を出してほしい。

回答 苗木でタクシーのデマンドの実証実験を行っています。結果が良ければ拡大していきます。ただし、あくまでも民間のバス会社の営業に支障のないように考慮します。他の地域では旧中津川や坂本には、コミュニティバスが走っていません。

質問 マスタープランが上手くいかないのは、指定管理を上手に利用しないからだと思う。指定管理に出しても何かあるとすぐに補助や支援を打ち切っているように思うがどうか。

回答 クアリゾート湯舟沢や紅岩山荘など民間に売却するなど、マスタープランの遂行に努力をしている面もあります。

質問 福岡は、ほんとバスが走っているが、高齢者にとってはバス停までが遠い。NPO おたがいさまでは、ドアツードア方式を行っている。これからはドアツードア方式を進めてほしい。

回答 おたがいさまのような、NPOが増えると良いと思います。ドアツードア方式が理想と考えます。

付知会場

【質問・意見・要望】

坂下病院について

質問 厚生労働省が発表した公立病院再編リストに、坂下病院が載っていてショックだった。今年度から、坂下病院が診療所に格下げになった。中津川市の理由は赤字だからということだが、病院の存続は赤字黒字で決められるのか。警察や消防が、黒字かということ。高齢化、少子化の中で心配でたまらない。この発表に全国知事会、市長会、町村長会が抗議している

とあったが、議員はどう思っているか。

回答 坂下病院が診療所になったのは、赤字だからというだけではない。医師がいないことが最も大きな原因である。名古屋大学、愛知医科大学からは、「坂下病院に医師を派遣しない」と明言されている。医師がいなければ入院患者への対応は出来ない。また、年間10億円の赤字を少しでも減らしながら地域医療を守るための縮小というのが二つ目の原因。特に恵北地域は坂下病院にかかる場合が多かったので、なんとかしたいと考えています。ドクターカーは恵北地域への駐在も出来るようになりましたので、しばらく状況を見ていきたいと思います。

小中一貫教育（義務教育学校）について

質問 人口問題研究所が、今年の出生者数を90万人と推計していると聞いている。2100年には日本の人口が3000万人になると推計されている。文教民生委員会の視察報告の中で、義務教育学校の話があり、大変興味深く聞いた。加子母でも教育協議会を中心に、義務教育学校を推進していこうと決めている。市政懇でも話したが、まだ保護者の義務教育学校に対する合意形成が得られていないので、PTA、教育協議会を中心に合意形成を得るために動いている。議会の協力をお願いしたいと思う。

回答 進めていきたいと思っています。議会の一般質問でも取り上げられました。中津川市全体としては、その準備が出来ていない状況です。文教民生委員会も視察してきましたし、会派の視察でも小中一貫教育を取上げようと考えています。

また、小規模特認校制度は非常に有効な制度だと考えます。付知でも加子母でも、8人以下の学級が2つできると複式学級になり、複式学級では2つのクラスを1人の先生が担当することになります。小規模特認校制度だと、1クラスに先生が1人なので、しっかりと見て頂けます。しかし、岐阜県には小規模特認校は1校も採用されていない。先生が少ないからだと思います。まずは市の教育委員会で検討し、県の教育委員会に申請をするという形になります。小中一貫教育は必要な形であり、特に義務教育学校というのは必要になってくると思います。ぜひこの制度を進めていきたいと考えています。

意見 岐阜県には義務教育学級が2校ある。加子母の義務教育学校を行うにあたっては、現在子どもを教育している家庭、将来子どもが教育を受ける家庭、終わった家庭と3つの世代がどの世代にとっても地域との関りが大変深くなるので大変重要なことだと思う。

新斎場について

質問 新斎場建設計画は一向に進んでいないような気がする。旧恵北に一ヶ所作って頂くとありがたい。中津川まで行くとなると、葬儀の方法自体も変えて行かなければならないので、近い所をお願いしたい。新斎場の計画はどこまで進んでいるのか、また頓挫した理由は何なのかを聞きたい。

回答 新斎場については調査・測定の予算が9月議会に補正予算として上程され決定しました。苗木地区で建設される予定です。他に中津、川上、苗木等も候補にあがっていたが、苗木で地元地域の了解を頂いたので、2年か3年後には完成すると思います。加子母、付知については、付知に斎場があり蛭川はすでに廃止になっています。坂下の斎場は、次に大きな修理が出た場合に廃止が決まっています。付知の斎場は当分の間は残ります。9月議会での補正予算は地形測量と地質調査、位置の決定で、令和2年3月までに基本計画が策定され、今年度中に大体の形ができると理解頂ければよいと思います。

回答 以前うかがった「炉の修理の時のために付知に炉を二つ作ってほしい」という要望は市へ伝えてあります。

川上（かわうえ）会場

【質問・意見・要望】

空き家対策について

質問 報告では空き家のアンケートをしているとあったが、中津川市ではアンケートを行っているのか、また行う予定があるのか。

回答 福山市では空き家を持っている方にアンケート調査を行い、アンケート調査に基づいて対策を進めており、中津川市より進んでいると思います。中津川市は、アンケート調査の計画はないと思いますので、参考にするように行政に提案したい。

坂下病院について

質問 坂下病院が診療所になった。坂下診療所は企業検診を取りやめ、眼科・整形の手術の市民病院への集約、労災も取りやめなど収入は減少した。「坂下病院でやっていきます」と言われた先生まで退職され、院内は何とも言いようのない状況。まちは、商店やタクシーなどお客が減り寂しい状況。暮らしの安全・安心の向上をどのように図るのか、議員一人ずつお聞かせ頂きたい。

回答 現在医師が激減し2名しかおらず、診療所しかできない状況。名古屋大学や愛知医大では坂下病院には医師を派遣しないという方針です。現状では名大や岐阜県の病院、坂下出身の医師にお願いするなど、一生懸命医師を探していますが今の所はいません。医師がいればやっていけると 생각합니다。市民病院を残すために、坂下病院を診療所にしたいと思います。病院にするには、医師を圧倒的に増やさないとやっていけないと思われ、診療所として続けて行ければと思います。

回答 やさかに限らず、付知も大変な状況。一番の問題は、子どもが少なくなったこと。高校生の通学バス代も非常に高く、地元に残り働く若者も少なくなってきました。高校を卒業して都会や大学に行く人が大半で、生産人口が2割以上減りました。巡回バスの問題もあります。市内の人口は減っていないが、旧恵那郡の人口が減少しており、地域で力を合わせて解決していかななくてはいけないと考えています。

回答 加子母も、高校の通学バスの負担が重くて大変である。子どもの教育のために一家で転居する家庭が5～6件出てきた。まちづくり協議会も動き始めているが、みんなで変えていくことが大事であると考えます。全国的に見ても、どこの自治体も厳しい。病院問題では、「医師の確保について」国へ中津川市議会としての意見書を上げました。

市長の方針は「坂下病院を診療所化してでも医療機関を残したい」という気持ちの現れだと思います。そこを理解していただきたい。

回答 診療所になるということは、不安が大きいと思います。気持ちはよく分かります。坂下病院が残ることが一番良い事ですが、「研修医制度」ができてから地域の病院に医師がいなくなり、全国的な流れと同じように坂下病院の先生もよそへ出ていきました。病院を維持していくことが非常に難しい状況。救急医療を扱う市民病院を残さなければならないと思います。そうしないと中津川市全体の安全・安心が保てないと思います。

回答 研修医制度が変わって、医師は施設の整った病院へ行く傾向になり、中津川市も医師確保の

ために頑張っていますが、医師確保が非常に困難。しかし、医師確保に努力するしかないと思います。

回答 坂下病院の医師が少なくなったから診療所にしたというのが「坂下病院を辞めない」と意思表示された先生が辞めていきました。引き留める努力をしたのか。「何よりも命が大事」。国がベッド数を減らすという政治をやっています。最近も厚労省が、名指しで圧力をかけてきた。坂下病院の診療所化は政治の問題。政治を市民の思いが届くように変えていけば、坂下病院も復活できると思います。病院のベッド数を減らし在宅医療・介護に移行してきました。地域包括ケアシステムに力を入れ、在宅でも安心・安全な暮らしができるように頑張ります。

回答 11月3日、坂下の消防団の秋の訓練があった。消防団員数は、私が消防団に入団した時と比べ半分になりました。首里城の火災や白川郷で火災がありましたが、白川村では、日ごろから村を上げて訓練をしており、その成果が今度の火災を最小限に抑えたと受け止めました。安全・安心は、皆さんの力を合わせ取り組まなければならないと考えます。今年の豪雨の際、坂下では17名が避難し、区長さんはじめ総出で取り組みました。マンパワーで取り組んでいかなければならないと思います。

病院の問題は「医師の確保」。退職した先生は残念です。これから新しい医師をみんなで探そうと考えている。こんな医師がいるというような紹介も頂きながら、何とかここへ来ていただくことが大切だと思います。これから人口や若者が減少し、若者が減少すれば地域の安心・安全が心配になるため定住できる施策を進めていきたいと考えています。

回答 坂下病院はやさかの問題であり、市長は中津川市の市長、やさかの市長ではない。中津川市全体を見て、安心安全の方針を出す。中津川市全体を守る立場に立てば、「切るところは切る。生かすところは生かす」という選択をせざるを得ない。

人口減少は国難であり、我慢するところは我慢することが必要です。命は大事だが、国土を守ることも大事。日本が日本であり続け、中津川市が中津川市であり続けるように守っていきます。バランスをどうしていくかは、市長の裁量権です。やさかではない議員は、皆さんの気持ちは理解するが、仕方がないと言っています。私はやさかなので、やさかの意見を代表します。医師の確保は議員の力ではできません。人口を増やすことが医師確保につながります。私達が中心になって人口を増やしていきます。

坂下診療所の充実を求める請願について

質問 今回の請願は診療所機能の充実をお願いした。また、市民病院のシャトルバスについて、市民が利用しやすい運行を求める請願を提出した。この請願は、病院機能の復活ではなく、診療所機能の充実を求めるものだった。ところが賛成されたのは3人の議員のみ。この請願のどこが間違っていたのか、どこに賛成できなかったのか聞きたい。

回答 6科のうち2科は市民病院に統合すると決めた後の請願だったので、6科残すことは難しいと思います。また、シャトルバスは試験運転で決定ではありません。

質問 入院は19床あるが、2～3床しか使われてない。緊急の時の入院ができないことについてはいかがか。

回答 坂下病院は、療養病床で一般病床ではないため、緊急の入院は難しいと思います。

その他

質問 今日の参加者は定年後の人が多く、リニアの恩恵を受けないで老いていくと思う。だから子

育て中の人の意見を聴いてほしいと思う。若い人が参加できるように努力してほしい。しかし、若い人が参加するためには開会時刻が早すぎる。もっと開会時刻を遅らせて、せめて7時半にしてはどうか。

坂下診療所のことについて話をしたい。私は社会福祉協議会で、移送サービスつまり車いすでの通院介助をやっている。ここからは寝たきりの方が市民病院まで行くのに30分かかります。行きは話をしながら行くが、帰りは話もできないくらいくたくたになって帰ってくる。そのような弱い人の話も聞いてあげてほしい。

回答 議会改革でも「若い人や女性などのいろいろな方からの意見を聴くようにする」と考えています。今は、商工会議所の若い人や高校生の話を聞く場があります。これからの任期の中で議会として執行部に政策提言できるような議会改革をしたいと話し合っており、貴重な意見をいただきました。

社会福祉協議会について

質問 高齢者の福祉政策は社協に丸投げのような気がする。今すぐの話ではないが、高齢者福祉について社協と話し合いなどして応援してほしい。

回答 社協理事をしています。ご指摘の通りだと思います。理事会で「社協として市にどういうことをしてほしいか」と確認もしている。災害ボランティアでもどこが担当するかという問題もあります。

この地域から医師を育てることについて

質問 まちづくり協議会も役員が高齢化している。若い人を育てることを議会としても取り組んでほしい。

坂下診療所の問題では、この地域から医師を育てることを議会としても取り組んでほしい。

回答 医師の確保では奨学金制度があり、中津川の公立病院で勤務した場合には返済の必要がない制度もあり、利用している学生もいます。

まちづくりについて加子母では、部会長と副会長は高齢者と若者になってもらうような仕組みにしており、若い人にも参加できるような体制を作っていく事が必要だと思います。

回答 地域の子どもは地域で育てるとというのが理念です。地域の医師は地域で育てるということを書いていただいたと思います。地域に開かれた学校にして、学校と連携し地域のために医師になろうという子どもが出てくるような社会にしたいと思います。みんなで取り組んでいきたいと思います。

学校トイレの洋式化の取り組みについて

質問 小中学校のトイレの洋式化について昨年質問した。順次やるという回答だった。今年何基できたのか、いつまでにやるのか聞きたい。家庭では洋式化になっているのに学校では和式で、女性は苦勞しているようだ。

回答 洋式化の取り組みを執行部に確認します。

会派について

質問 「坂下病院を守る会」で9月議会に請願を出した。紹介議員になってほしいとお願いしたところ、何人かの議員が「会派の方針が請願と合わないので紹介議員になれない」という返事だった。会派とはどういうものか。

回答 会派とは、同じ考えの人が集まってまとまりをつくるということ。あるいは所属する政党ごと（公明党や共産党のように）まとまって会派をつくるということ。議会運営委員会では会

派ごとに話し合った意見を持ち寄り、全員で検討しています。しかし問題もあります。会派として意見をまとめてしまうので、一人一人の考えが分からなくなるという点もあります。

質問 会派に必ず入らないといけないのか。

回答 会派に所属しなくてもよい。ただし、議会運営委員会には、2人以上で組織した会派代表でないと参加できません。

神坂会場

【質問・意見・要望】

空き家対策について

質問 この地域にも1軒崩壊しそうな家がある。家主は中津川市に住んでいない。中津川市としてどうしたらいいか。

回答 まずは市に相談して頂くことが必要であり、調査して危険を及ぼす家屋であれば、空き家対策協議会で協議します。特定空き家となれば、所有者に「管理や取り壊し」をお願いし、それでもできない場合は、行政代執行を行い、費用は家の所有者負担となります。また所有者を特定できない場合は、略式代執行として管財人や裁判所が指名され、建物を除去します。費用は土地を売るなどして賄うことになります。

中学校の統合について

質問 8月の市政懇で中学校統合問題の質問をしたが、明確な答弁はなかった。4月に神坂と馬籠が統合したが、中学校が落合中学校と統合すれば、神坂中学校の土地が空く。そこに神坂事務所を、新築移転してほしいと統一要望を出した。小中学校の連携教育の関係はどうなるのか。

回答 学校の統合は学校適正化計画に沿って進められ、教育委員会と地元との協議が必要です。協議の中で決めていきます。神坂小中学校は連携教育が行われ一貫教育と同じような教育がされています。1クラスが8人以下の学級が2つになった場合に、複式学級にならないようにするには、少人数特認校制度が必要です。これは市の教育委員会が認めて、さらに県の教育委員会が認める必要があります。現在岐阜県には1校もありません。議会でも小中一貫校について一般質問しましたが、市は「一貫校は考えていない」との答弁でした。また地域事務所のことは、地域で相談していただきたい。

空き家予備軍・指定管理制度について

質問 空き家になってからではなく「自分の所は空き家になるだろうな」という空き家予備軍の情報収集をして活用すれば対策にそんなにエネルギーを使わなくてもよいのではないかと思うが。

回答 独居の高齢者宅が空き家予備軍になるかと思います。中津川市はその取り組みはしていないが、他自治体ではあるようです。事前に情報をしっかり取得しておけば、空き家になった時にはすぐ取り組めると考えますので、意見を中津川市に伝えます。

質問 指定管理者制度はどんなものか。

回答 指定管理者制度は、平成16年にできた制度です。施設の維持管理を民間や地域の団体に委託できるようになり、中津川市では現在69施設を指定管理しています。維持管理費用も安くなり、サービスも低下させないで維持管理できるようになりました。

質問 指定管理者制度の69施設は、利益を上げているか。双方が利益にならないといけないと思

うが、どうか。

回答 3年から5年ごとに受託者の経営やサービスなどについて評価しており、利益が上がらないような場合は管理者を変えることもできます。

視察について

質問 議会として他の自治体へ視察に行っているが、中津川市にも視察に来ているか。その内容はどんなものか。

回答 議会改革について、今年だけで4市町から来ました。タブレットや議会改革で来ています。その他の視察項目と合計すると年間10自治体位が来ています。

神坂公民館・事務所建替えについて

質問 今年の市政懇で神坂公民館と事務所の建て替えをお願いしたが、財政難で困難と言われた。神坂事務所の場所は、ハザードマップではイエローゾーンで危険な場所になっている。老朽化もあり、トイレが2階にない状況である。10年後といわず、早く出来ないか。

回答 神坂と馬籠が一緒になったということで、別の場所に建て替えができるよう検討も必要だと思います。今後中津川市に伝えます。

ごみ問題について

質問 ごみの量が県内ワースト2と報告された。他自治体と比較して何が多いのか。意識改革をどうするのか。

回答 プラスチックごみや雑紙、布の資源化が必要です。市民の意識改革が必要と考えます。

新斎場について

質問 新斎場は、未だにまだ決定できてない。できる見込みは立ったと聞くが、進捗状況を知りたい。

回答 苗木地区で了解を得ています。9月議会で測量・基本計画の補正予算が提案され可決しました。5ヘクタール位測量し、今後場所を決定する予定、基本計画を今年度中に出す計画です。

まちづくりについて

質問 ある雑誌に「東海エリアで一番住みたい田舎はどこか」という質問で、1位が静岡、2位が恵那市、3位が中津川市となっていた。恵那市では国道19号線の東側に大きな土地を開発し、いろんな商業スペースを持ってきて、魅力のあるまちづくりをしている。中津川市はアピタがなくなり、寂しいまちになっている。中津川市は、一級河川の木曽川、JR中央本線、国道19号線、中央自動車道があり、これからリニア中央新幹線が開通し、スマートインターが馬籠に出来る。人口密度が低い中津川に、高速道路や鉄道本線駅があり、スマートインターが出来る。中津川市は日本一、世界一であると思う。しかし、恵那市と比較して商業においては開きが出ている。議員21人で一つのテーマを持って「まちづくり」をやってほしい。

回答 雑誌の結果は行政の施策が住みやすいかどうかという指標が評価となっています。その点においては恵那市に負けている状況のようであり、議会も行政と一緒に住みやすい「中津川市」にして行きたい。

回答 観光面では、馬籠、苗木城、付知峡などを生かしていると思います。議会は、議決権を持っており、チームとして、政策提言など出来るよう検討して行きます。

ため池災害・公共交通について

質問 台風19号の豪雨災害で、山村では土砂災害やため池の決壊があった。中津川市も干ばつ対策としてため池がある。その下流域には人が住んでいる。これから集中豪雨などがあった時、災害が小さくて済むよう行政と一緒に取り組んでほしい。

回答 ため池の調査は進んでおり、どう補強工事して行くかはこれから決定されます。補強工事では、受益者の分担金もあるので検討が必要です。配慮しながら皆さんと一緒に取り組んでいきます。

質問 高齢者が多くなって免許返納も増加すると思われる。交通の便を良くしてほしい。

回答 公共交通について、神坂はコミュニティバスが全部網羅されていないが運行されています。現在も地域交通網形成計画を策定しており、利用促進の計画を立案中です。運転免許を返納された70歳以上の高齢者については、タクシー利用の10%の割引などがあります。